

平成31年度 福井県立盲学校 学校関係者評価書

<p>【問】 学校評価書の成果と課題について適切かどうか。 成果と課題を踏まえた今後の改善策・向上策が適切か。</p>
<p>【意見を伺った方】 ・ 福井県盲教育振興会 会長 、 本校 PTA 会長</p>
<p>【ご意見欄】</p> <p><教育課程・学習指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業と家庭学習を結びつけた指導という目標は良い目標であると思う。 ・ 目標は達成しているが、保護者の回答で「十分わかった」より「おおむねわかった」の割合が大きい。これについて、どう捉えるかであるが、保護者からすると、現場を見ているではないので、言葉や文章で伝えてもらった内容で判断すると「おおむねわかった」としか答えられないのは当然であり、「おおむね」の評価で十分だと考える。 <p><生徒指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「SNS」については、「高等部の生徒に関して」と対象を明確にして記述するとよい。 ・ 情報の共有をどこまですべきかという点は課題であるが、情報の共有は適切に行ってほしい。 ・ 「思いやりの気持ちがもてなかった」との児童生徒の回答が4割であるが、逆にそう思えなかったということが正直でいい結果だと感じる。全部が全部、できるものではない。 ・ 「協力し合って、一生懸命」という問いは、どちらに重きを置いて回答するのか難しい質問ではなかったか。 <p><進路指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな機関は何なのか、どういうところなのかを具体的に記述するとよい。 <p><保健管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手洗いうがい徹底できていないことは残念な結果である。保護者の意識もそこまでなかったのなら、保護者にたより等を含めて周知を図ってほしい。 ・ 消防署の人は防災については専門家であるが、車椅子の生徒については専門ではないので、意見を聞きつつこちらの専門知識を生かして危険のないよう対処してほしい。 <p><図書・研修></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務や校務の方にも呼び掛けて新転任者研修に参加してもらったり、生徒の様子を見てもらったりできるとよい。点字ブロックの上に自動車を止めたり、手引きの必要な生徒に声を掛けることができなかつたりすることがないように、視覚障がい者に会ったときに自然に声が掛けられる程度の専門性を本校の職員全員がもてるとよい。 <p><教育相談></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者保護者のアンケートの中に「C あまりできなかった」が8%を占めている。丁寧な相談を行っているはずなのに、どうしてこんな数字がでるのかを改善策・向上策にしっかりと挙げてほしい。 ・ 眼科への啓発はこれまで同様、効率よく啓発してほしい。 <p><寄宿舎></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 寄宿舎は舎の活動に100%できたと答えている。子ども達も満足しているのだろう。来年は目標を変えて取り組んでほしい。 <p><全体的を通して></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少数の「C あまりできなかった」の回答に課題意識を持って取り組むのはいいが、その理由を推測するだけでなく、具体的にできなかった理由を文章化して記述する欄をアンケートに設けるとよいのではないかと。記述が難しそうであるならば、具体的な理由として副項目をいくつか付けて選択してもらうなどの工夫をした方がよい。 ・ 改善策・向上策についてわかりづらい。具体的に記述し、来年につながるようにしてほしい。 ・ 結果がグラフ化されているが、A B C Dの区別がつきにくい。わかりやすいものに改善してほしい。 <p>◎ 少人数を生かして素晴らしい教育ができていると思う。工夫された教育がなされていると思う。</p>
<p>【学校関係者評価を踏まえた今後について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的案を検討し次年度につなげたい。 ・ 評価の提示方法をよりわかりやすいものに変えていきたい。 ・ 本県における視覚障がい者に特化した特別支援学校として、職員全員への専門性の浸透を図り、また、盲学校を、視覚障がい教育を幅広く理解してもらえよう、効率の良い啓発方法について探り、校内全員で啓発活動に取り組みたい。